

宇宙技術の早期警報への応用と越境型災害への効果的な対応

Utilization of Space Technology for Early Warning and Efficiently Response Against Transboundary Disaster

*鈴木 弘二¹

*Koji Suzuki¹

1. アジア防災センター、神戸大学都市安全研究センター

1. Asian Disaster Reduction Center, Research Center for Urban Safety and Security Kobe University

センチネル・アジアの枠組みを通じて宇宙技術は災害リスクの軽減に貢献している。この枠組みでは、これまでほぼリアルタイムで宇宙からの観測・解析情報をオンラインで提供してきたが、緊急対応や災害後の復興計画策定や事業を効率的にするだけでなく、早期警報の発出にもスコープを拡大しようとしている。アジア地域の8つの宇宙機関がアジア各国に衛星データを提供し、緊急対応、地図作成、災害被害の評価、復旧・復興に貢献している。これに加えて日本が開発した準天頂衛星”みちびき”を利用することによって、拡声器やスマホを通じて早期警報を伝達することができるようになった。

キーワード : Space-based technology, Sentinel Asia, QZSS, Early warning message platform, Transboundary disaster

Keywords: Space-based technology, Sentinel Asia, QZSS, Early warning message platform, Transboundary disaster